

令和5年5月24日

茨城県農林水産部林政課

全国育樹祭推進室

【報道関係者各位】

令和5年5月23日(火)

株式会社ウィンフィールドジャパンの常陽銀行寄贈サービス付私募債を活用した協賛物品の贈呈式を開催しました

このことについて、令和5年11月11日（土）・12日（日）に開催する第46回全国育樹祭に対し、株式会社ウィンフィールドジャパン（代表取締役 勝田 健一）から常陽銀行の寄贈サービス付私募債を活用した協賛の申し出があり、下記のとおり協賛物品の贈呈式を開催しましたので、ご案内いたします。

記

1 日 時

令和5年5月23日（火）13時00分～13時30分

2 会 場

茨城県庁 副知事応接室

3 出席者

株式会社ウィンフィールドジャパン（協賛者）

代表取締役 勝田 健一（かつた けんいち）

総務部長 藪和 雅人（みのわ まさひと）

株式会社常陽銀行（寄贈サービスの提供者）

越谷支店長 住谷 貴輝（すみや たかき）

第46回全国育樹祭茨城県実行委員会

副会長 茨城県副知事 横山 征成（よこやま まさなり）

4 内 容

第46回全国育樹祭に対する100万円相当の協賛物品（※）贈呈

(1) 開会

(2) 協賛者あいさつ

・株式会社常陽銀行 越谷支店長 住谷 貴輝

・株式会社ウィンフィールドジャパン 代表取締役 勝田 健一

(3) 協賛物品（目録）贈呈

(4) 株式会社ウィンフィールドジャパンへ感謝状贈呈

(5) 副知事あいさつ

(6) 懇談・閉会

※大会プログラム製作費及び来場者管理システムの一部

（このうち大会プログラム製作費において、常陽銀行の寄贈サービス付私募債を活用して10万円相当を協賛）

5 寄贈サービス付私募債「社会貢献応援債」の概要

常陽銀行が私募債発行企業から受け取る発行金額の一部（0.2%相当）を学校や地方公共団体に寄附・寄贈するサービスが付いた私募債

6 協賛物品の用途

大会プログラムについては、令和5年11月12日（日）に水戸市のアダストリアみとアリーナで開催する第46回全国育樹祭式典行事において、参加者に配布する。
また、来場者管理システムについては、同式典行事参加者の受付等を行う。

7 出席者あいさつ要旨

(1) 住谷越谷支店長

2016年から寄贈サービス付私募債の取扱いを開始し、発行企業様との連名で、2023年の3月末で1,010件の寄贈を行っている。

第46回全国育樹祭応援債は、単なるお客様の資金調達だけでなく、森林を保全する機会の提供、全国育樹祭の認知度向上を目的としている。今年の2月から取扱いを開始し、3月末で13件の寄贈が決まっている。(株)ウィンフィールドジャパンは、茨城県内での再生可能エネルギー事業で、持続可能な社会の実現に積極的に関わっていただいております。第46回全国育樹祭の趣旨に賛同され、協賛されることになった。

常陽銀行では、今後ともCSRの取組みを通して、お客様と共に将来にわたる地域貢献に取り組んでいきたい。

(2) 勝田代表取締役

我が社では、地域に寄り添いながら地産地消のエネルギーや雇用の創出を行い、地域を盛り上げていくことをモットーとしている。そのほか、学生の就学支援や地域への貢献活動にも取り組んできた。

再生可能エネルギー事業には大きい土地を必要とするため、森林を伐採することもあり、CO2の問題や森林の再生を考えていたところに、常陽銀行から第46回全国育樹祭応援債を紹介していただき、賛同させていただいた。

(3) 横山副知事

第46回全国育樹祭へご協賛いただき、大変ありがたく思う。ポストコロナのタイミングで全国的なイベントが開催できるのは、茨城の魅力を発信する大きなチャンスであるので、ご賛同いただき大変助かっている。

再生エネルギーの普及については、県としても積極的に取り組んでいるが、自然環境とのバランスも課題となってくる。取り組まれている方々がバランスを意識してくださるのは非常にありがたい。

育樹祭をきっかけとして、緑の大切さを働きかけられるよう、県でもしっかりと取り組んでいきたい。

8 開催写真



▲ 目録の贈呈

(左から勝田代表取締役、横山副知事)



▲ 感謝状の贈呈

(左から勝田代表取締役、横山副知事)

【本件に関するお問合せ先】

茨城県農林水産部 林政課 全国育樹祭推進室 担当：鳥羽・川上

電話：029-301-4018 FAX：029-301-4039 MAIL：ikujusai@pref.ibaraki.lg.jp